

【小学校算数 活用問題 小5-①】
「多角形の角の大きさの和は？」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点			
			関意	考え方	技能	知理
(1)	○ 四角形を三角形で構成し、四角形の内角の和の求め方を三角形の内角の和のきまりを根拠として、演繹的に考え、その関係を式で表し、四角形の内角の和を求めることができるかをみる。	○ 5年C-(1)-ア, ウ 図形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解を深める。 ア 多角形や正多角形について知ること。 ウ 図形の性質を見だし、それを用いて図形を調べたり構成したりすること。		○	○	
(2)	○ 三角形の内角の和のきまりを根拠として、(1)の考え方をもとに、四角形の内角の和の求め方を演繹的に説明することができるかをみる。	○ 5年C-(1)-ア, ウ ア 多角形や正多角形について知ること。 ウ 図形の性質を見だし、それを用いて図形を調べたり構成したりすること。 ○ 算数的活動(1)エ 四角形の四つの角の大きさの和が 360° になることを演繹的に考え、説明する活動		○		
(3)	○ 五角形を三角形で構成した図を観察し、(1), (2)の考え方をもとに、五角形の内角の和の求め方を表現した式を選択できるかをみる。	○ 5年C-(1)-ア, ウ ア 多角形や正多角形について知ること。 ウ 図形の性質を見だし、それを用いて図形を調べたり構成したりすること。 ○ 算数的活動(1)エ 四角形の四つの角の大きさの和が 360° になることを演繹的に考え、説明する活動		○		
(4)	○ 三角形の内角の和のきまりを根拠として、多角形の内角の和の求め方を演繹的に考えるとともに、多角形の内角の和の求め方を帰納的に見だし、その和を求めることができるかをみる。	○ 5年C-(1)-ア, ウ ア 多角形や正多角形について知ること。 ウ 図形の性質を見だし、それを用いて図形を調べたり構成したりすること。 ○ 算数的活動(1)エ 四角形の四つの角の大きさの和が 360° になることを演繹的に考え、説明する活動			○	